

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月 1 日

事業所名 児童発達支援事業所 きらり児島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		建物の構造上、段差がある箇所もあるが、マット等で躓きにくくしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年、事業所玄関に設置したり、ホームページでの公開を行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所間交流などを行い、法人内で他の事業所の体験などを行うようにしている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールの内容の見直しを今後行っていき、適切なツールになっているかの確認を行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日、支援に対しての振り返りを行う中で、どのような活動が良いかを検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもたちの状況に合わせ、提供する活用を検討している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			現在、土曜日の開所のみであるが、課題設定については、子どもの状況に合わせて取り組んでいる。余暇の活動については、引き続き検討していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		書面のみでなく、画像等の媒体で記録を取ることもある。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			主に事業所責任者が出ることが多いが、今後は職員配置の調整が出来る場合には、保育士や児童指導員の参加も実施していきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			現在、保護者を介しての情報共有となっている。今後は学校との直接のやり取りが出来るよう関係を構築していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在、医療的ケア児の受け入れは無いが、実施する場合には関係機関と連携を図る。また、リハビリ先との連携は引き続き行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて連絡を取ることで情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在、小学校2年生までの受け入れのため、実施出来ていない。しかし、利用児に対しては引き継ぎ資料を作成するなどし、情報提供できる体制は整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今年度において、コロナ禍であるため参加の機会がなかった。昨年度までは参加をしている。今後、実施される場合には、積極的に参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在実施が出来ていない。今後、必要に応じて協力体制を確保して行きたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今年度については、実施されていないが、開催されている年は参加することが出来ている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用の都度に保護者へ直接伝えるようにしている。	保護者が直接来られない方については、書面を介してのやりとりとなっている。今後、双方向でのやり取りが出来るように検討していく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			今年度については、コロナ禍であるために1回のみ開催した。昨年度までは定期的に開催をしていた。密にならない環境の確保が出来る状態での実施を検討してく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			玄関先での引継ぎとなるため、保護者に伝えた内容が、他の保護者に聞こえることがある。場所の確保を早急に検討する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域の子どもが参加得着る活動を月に1回開催している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	このような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			